



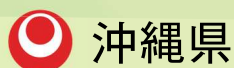
第5次 沖縄県 地産地消 推進計画

令和6年度～10年度

ていだサンサン 食べたらがんじゅう 沖縄産



令和6年3月



沖縄県



沖縄県における 地産地消の現状

地産地消とは

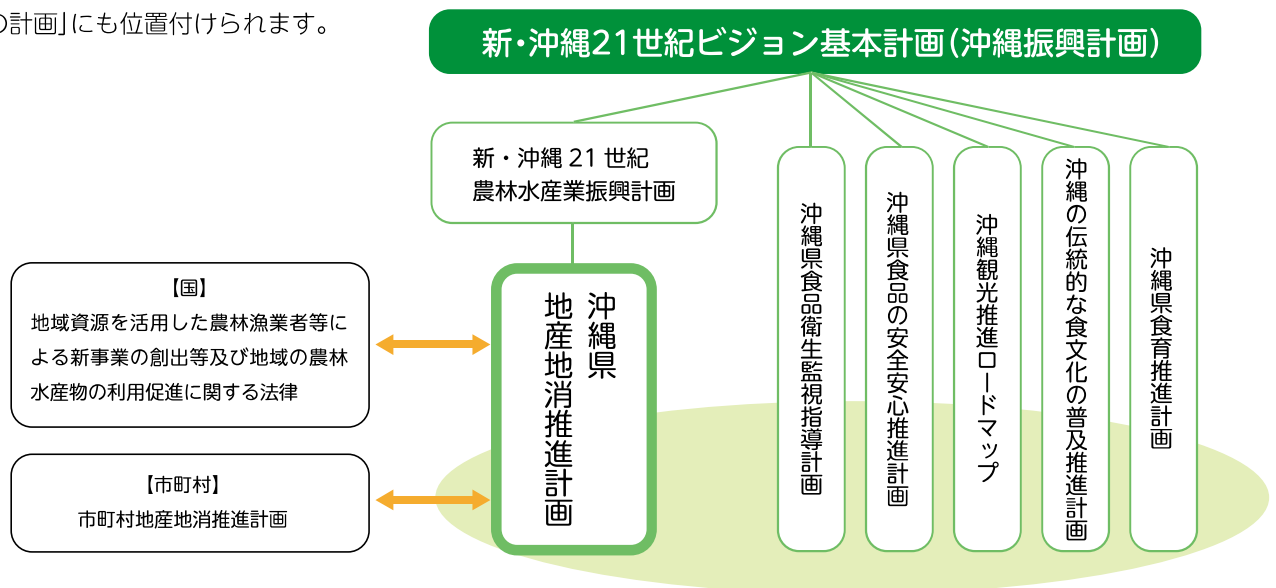
「地域生産、地域消費」の略語で、地域で生産された農林水産物等をその地域で消費することです。

現在では、単に地域で生産された農林水産物を地域で消費しようとするだけでなく、地域の消費者ニーズに対応し、生産された農林水産物を地域で消費しようとする活動を通じ、農林漁業者等と消費者を結びつける取組であり、これにより、地域の農林水産業への理解促進や関連産業の活性化などの効果が期待されています。



沖縄県地産地消推進計画について

- 本計画は、沖縄県の総合的な基本計画である、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画及び実施計画を補完する個別計画である「新・沖縄21世紀農林水産業振興計画」を上位計画とする、沖縄県における「地産地消」を推進する上での基本となる計画です。
- また、本計画は、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」第41条に基づく「地域の農林水産物の利用の促進についての計画」にも位置付けられます。



地産地消とSDGs

SDGs(エスディージーズ)は「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」という意味を表します。SDGsには2030年までに達成すべき17の目標が掲げられており、これらは2015年に開催された国連サミットにおいて採択されました。

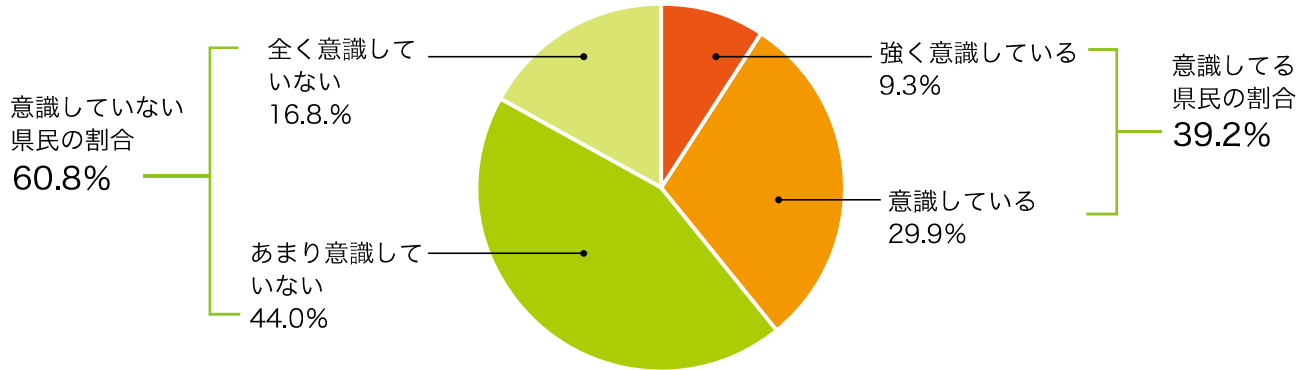
17の目標のうち「2 飢餓をゼロに」、「8 働きがいも経済成長も」、「12 つくる責任つかう責任」、「13 気候変動に具体的な対策を」、「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」は、地産地消の推進と関係が深く、地産地消の推進はSDGsの達成に貢献すると考えられます。



県産食材への意識について

「ふだん食品を購入する時や外食する時に食材が沖縄県産であることを意識している」と回答した県民の割合は39.2%であり、第4次計画策定時(5年前)の31.7%と比較し、7.5ポイント増加しました(令和5年9月調査)。しかしながら、意識していないと回答した県民の割合は60.8%であり、今後も地産地消に対する県民意識の向上に取組むべきものと考えられます。

Q あなたはふだん食品(生鮮農林水産物、及びそれらを原料に使った加工品や惣菜、弁当など)を購入する時や外食をされる時に食材が沖縄県産であることを意識していますか?(N=1187)



沖縄の食材を知ってほしい！
WEBでも紹介しています。

毎日の **ごちそう** ネタあります！
くわっちー!! おきなわ
沖縄食材情報

詳しくはこちら！



沖縄県産農林水産物のデータベースや県産食材に関するイベント情報等を発信しています。

おきなわ食材の店

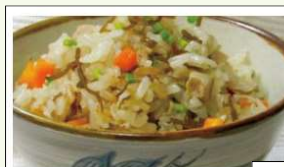
地元でとれた新鮮な食材を使ったお料理を提供する「おきなわ食材の店」登録店を紹介しています。



詳しくはこちら！

おきレシ

沖縄県産食材を使ったレシピを紹介する投稿型のウェブサイトです。令和6年1月時点で、約8,000品のレシピが掲載されています。



もずくジュシー
もずくを入れてさらに美味しい！



ゴーヤとベーコンの炒め物



パッションフルーツのアガラサー
沖縄的トロピカルな菓子として人気の一品。

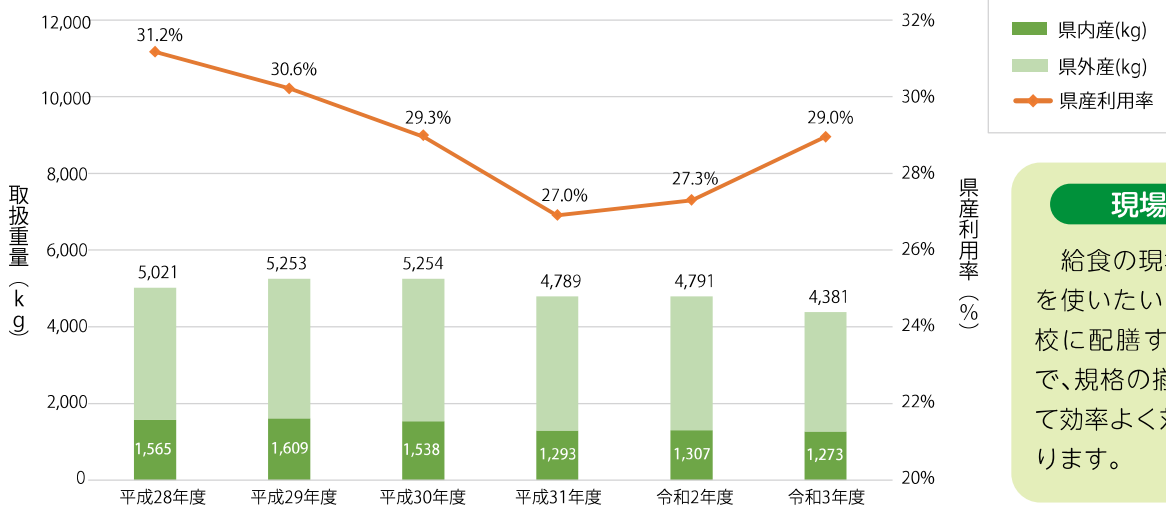


詳しくはこちら！

県産食材利用の状況

学校給食での県産食材利用率について

- 年間を通した平均利用率は29.0% (重量ベース) となっています (R3年度)。
- ゴーヤーや、とうがん、へちまなど、県内で生産量の多い品目は80%以上と高い利用率となっています。



※学校給食における県産食材利用状況調査結果 (沖縄県流通・加工推進課) より作成

現場からの声

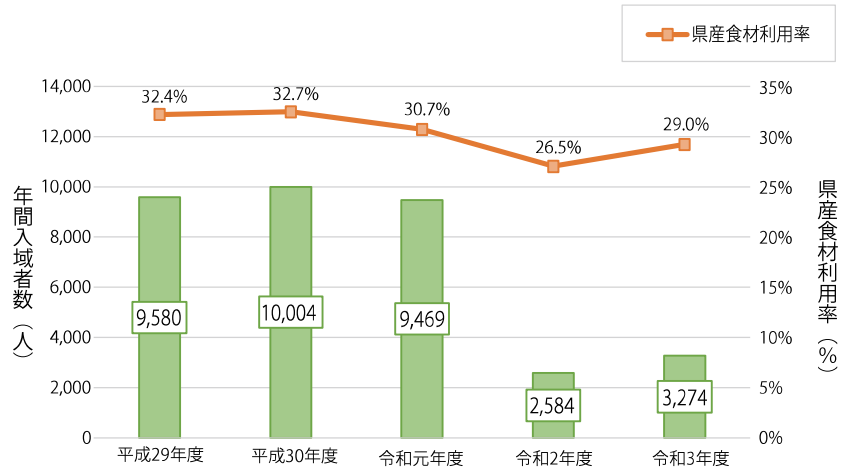
給食の現場では、県産食材を使いたいけど、手早く各学校に配膳する必要があるの
で、規格の揃った食材を使って効率よく対応する必要があります。

ホテルでの県産食材利用率について

- 年間を通した平均の利用率は29% (重量ベース) となっています (R3年度)。
- ゴーヤー、オクラ、マンゴー、スイカ、卵、もずく、車エビ、マグロなどは、年間を通して70%~100%と高い利用率となっています。

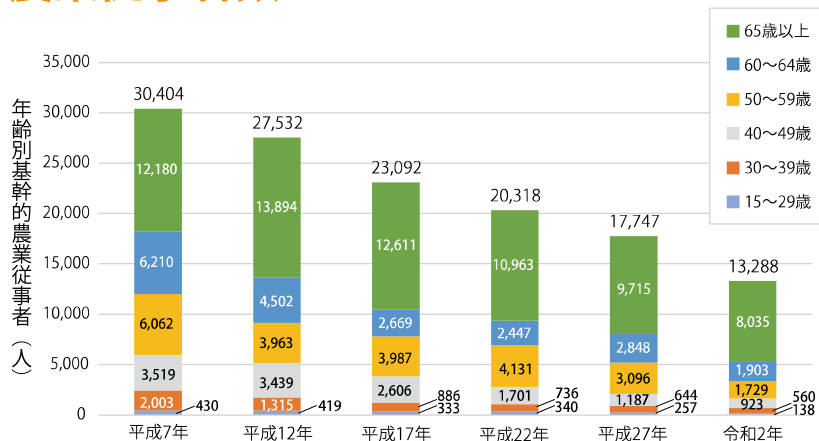
こんな要因も

観光客の県産食材に対するニーズは高いものの、供給が安定せず、需給バランスが悪いことも、利用率が上がらない要因となっています。



※沖縄県入域観光客統計概況 (沖縄県観光政策課) 及び県内ホテルにおける県産農林水産物利用状況調査 (沖縄県流通・加工推進課) より作成

農業従事者数について



※資料：農林水産省「農業センサス」

- 農業従事者のうち普段より仕事として農業に従事する基幹的農業従事者数は、平成7年以降減少を続けており、令和2年においては13,288人となり、平成7年からの25年間で半数以下に減少しています。また、65歳以上が6割以上を占め高齢化が進んでいます。
- さらに、近年の物流コストや生産資材価格の上昇、気象災害による農林水産物の被害の発生など、多くの課題を抱えており、農業従事者を取り巻く環境は厳しい状況にあります。